

放射温度計について

物体の表面から放射される赤外線量を温度に換算する温度計です。対象物にセンサーを接触させずに測定できるので、危険な場所(高温/高所)や回転体などの測定に向いており、食品の温度も衛生的に測定できる特長があります。一方で測定対象(光沢のある金属面や、気体、液体や固体の内部温度など)によっては正確に測定できない場合があります。また測定対象物との距離に比例して測定対象面積が広くなることにも注意が必要です。

放射温度計の赤外線センサーには「温度ドリフト特性」があります。冷たい屋外から室内に持ち込んで使用する場合には、本体温度が室温近くになってから測定開始してください。

放射率について

赤外線は物体の表面の状態により放射率が異なるので測定対象に応じて放射率を考慮して測定する必要があります。放射率は0.10～1.00の範囲で、表面がツルツルの金属などは0に近く、表面がザラザラで黒っぽい物では1に近くなります。一般的には放射率0.95で約90%の対象物をカバーできます。

放射温度計についてよくある質問

■ガラス面に向けて測るとき、どこかの温度が表示されますか？

ガラスは赤外線を通さないのでガラスの表面を測定することになります。例えば、水槽を横から測ると中の水温ではなくガラス面の温度を測定します。

■湯面を測るとどうなりますか？

やかんや鍋のお湯の表面温度は蓋を取って湯面の上から測定できますが、湯気があるとその温度を測定するので誤差が発生して安定しません。



放射温度計



放射温度計

CT-2000DS

新製品



580℃



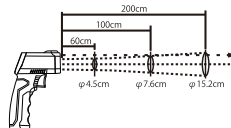
可変



約7秒



- レーザーマーカ機能で狙いが付きやすい。
- 専用ビニールカバー付属。
- 従来機種・CT-2000Dよりも下記機能が向上しました：
 - ・測定温度範囲が広がり、放射率の変更が可能に。
 - ・3.5桁LCD表示に変更で見やすく。バックライト機能も追加。



一般仕様

センサータイプ	赤外線センサー
測定範囲	-50～+580℃
分解能	0.1℃
測定精度	±2%rdgまたは±2℃のどちらか大きい方 (0～+580℃) ±4℃ (-50～0℃)
サンプリング	約1回 / 秒
放射率設定	0.10～1.00(0.01ステップで可変)
測定エリア	130cmでφ10cm
測定波長	8～14μm
レーザークラス	クラス2 (JIS C6802 (2014))
使用温湿度	0～+50℃、10～95%RH (但し、結露のないこと)
保存温湿度	-20～+60℃、80%RH以下 (但し、結露のないこと、電池含まず)
電源	9V角型乾電池×1個
電池寿命	約16時間(アルカリ電池使用時)
寸法	約W39×H145×D75mm
重量	約130g(電池含む)
付属品	取扱説明書、ビニールカバー、センサーキャップ
校正	可
JAN	4983621200249